

# 報告書目次

- 一、一般情勢報告
- 二、本部會務報告
  - (一) 第四回全國大會報告
  - (二) 中央委員會報告
  - (三) 指令及通達其他
- 三、各部活動報告
  - (一) 會議部
    - (イ) 會議の一般的傾向、(ロ) 會議の原因より見た傾向
    - (ニ) 全國勞務爭議情勢
  - (二) 組織部
    - (イ) 我國勞働組合の組織率、(ロ) 全勞内部の組織状態
  - (三) 教育部
  - (四) 出版部
  - (五) 青年部
  - (六) 婦人部
  - (七) 共済部
  - (八) 法律部、調査部
  - (九) 國際部
- 一、第十八回國際勞働代表選出問題 二、アジア勞働會議結成

## (十) 政治部

- 一、大會決定諸要求の要請 二、日本工業界聯盟並に全國産業團體聯合會聯絡開會
- 四、特殊事項報告
  - (一) 戰線統一運動
  - (二) 失反闘争
  - (三) メーデー闘争
  - (四) 第十八回國際勞働代表選出經過
  - (五) 罷業相互金庫設置運動
  - (六) 日本勞働組合會議情勢
  - (七) 人事移動
- 全國勞働昭和九年度役員
- 附表
  - (一) 全國勞働聯盟組合會議成績一覽
  - (二) 加盟組合現勢一覽

に落着いて来た。また資本家階級、支配階級も従來の舉國一致協調主義の假面の下にある彼等の反動的な全貌を現はした。

一、五・一五事件當時に曝露された支配階級の内部の分裂を完全に日本資本主義強化の下に統制した。  
二、全國産業團體聯合會の進出、その支柱たる産業勞働俱樂部の擴大により、資本家階級の反動的勞働對策を強化した  
三、資本家自體のファッショ化過程により、浮動的ファッショ運動が凋落勞農大衆を支配階級と直面せしめた。  
これに對し、勞働運動は

一、日常闘争に於ては、インフレ闘争から待遇改善、勞働者の地位の向上のための闘争に進み、漸次大企業に移行した。  
二、勞働立法、産業組織の改革の如き社會主義的政治闘争に進む傾向を現はして示した。  
三、勞働組合戦線の統一強化が着々進行し、日本勞働組合會議の充實を見つつある。  
四、政治經濟の國際的不安に刺戟されて、勞働運動が具體的に國際的提携に進出した。

これらは、何れも久しきにわたる資本攻勢の後をうけて、まさに勞働攻勢に轉ぜんとする準備工作と見られるのである。

## (五) 全國勞働の運動の動き

かゝる國際的、國內的に變轉著しい情勢の中にあつて、我が全國勞働の一年間の活動は、よく大勢に處して大衆の指導を誤らず相當の効果を収めた。

先づ、我が全國勞働は、昨年度大會に於て所謂「非常時當

面闘争方針要綱」を決定し、これが遂行に努めたが、當時に於ける非常時に對する我等の認識と態度は、その後の事態の發展に照して何等の誤りがなかつたことを認める。我等は主體の完成と實行性に當む運動を樹立することを目指して進んで来たのだが、その主なるものとしては、第十八回國際勞働會議に對して、従來の消極的態度を改めて勞働代表を選出し情勢の變轉に應じた効果ある活動をなさしめ、日本勞働組合會議と協力して、地方協議會を各地に組織し、アジア勞働會議を結成し、産業及び勞働統制要求の運動を進め、ソシアリズムの活動に乗じて我等の立場を宣明するなど、對外的に活動した。また神戸、ダンロップゴム工場、東京モス五福工場、關西勞働總聯盟、更に近くは、日本勞働同盟に於ける関東、東北地方組合などの同志を迎へて、大衆を築き上げ、多難の情勢の中にあつて加盟四五組合、六聯合會、五萬に達する堅城を築き上げた。

主たる日常闘争は、昨年以來引續きインフレ闘争において来たが、既にその第一段階に於て効果を収めて、着々待遇改善其他の闘争に進みつつある。内部充實の方面は、最も努力した點であるが、共済活動、相互金庫設置などは漸く準備期を脱した程度である。それらは不斷の健實な努力を続けることによつて成功を期してゐる。

最後に、政治闘争への積極的努力は、全國勞働の最も重要視する所であるが、我等は組合の職分を確立充實すると共に、常に反ファッショ、戦争防止、暴壓反對、勞働立法獲得、失業反對などの諸活動を通じて、社會大衆黨と協力し、他面勞働組合運動の政治中立的傾向の克服に努めてゐる。